

赤川流域石金沢砂防堰堤工事

平成26年度に行った工事の実施状況についてシリーズで紹介しています。今回は、石金沢の砂防事業として行った工事について紹介します。

石金沢砂防事業の概要

石金沢は鶴岡市大針地区高沢口地内にあり、土石流の発生が懸念される溪流です。民家等への被害軽減や、大鳥川の河道閉塞に伴う下流への氾濫被害の軽減を目的として砂防堰堤(高さ11m)を建設しています。今年度は、堤体のほぼ半分を建設しました。

平成26年度工事の概要

- **工事内容** 左岸側の堤体基礎となる深さまでの地山掘削と、堤体コンクリート約1,000m³の打設。
- **施工業者** 升川建設(株) (現場代理人: 茨木真人)
- **工期** 平成26年5月9日～平成27年2月10日
- **現場代理人さんからの一言**

石金沢は土石流危険溪流に指定されているため、土石流を感知するセンサーを上流部に設置し、作業場所には警報器を設置して、作業中に土石流が発生しても作業員が確実に避難できることを確認した上で、作業を行いました。また、近隣住民の方々には、工事用車両の通行などに関して、ご理解ご協力を頂きましてありがとうございました。おかげさまで、工事をスムーズに進めることができ、無事故無災害で工事を完了することができました。



工事箇所



施工状況

工事着工前



岩掘削 (非常に硬い岩盤で良好な基礎地盤)



コンクリート堰堤施工状況



今年度 施工部分の完成★

